

SAMI NEWS 動物医療発明研究会

No.66

Winter 2024

久しぶりのリアル総会。会場内の元気な顔と生の声、それとZoomでご参加の会員との会話、ハ イブリットで楽しめた総会でした。

参加できなかった会員の皆様にも内容を、お届けします。今回のニュースレターで、大阪の岸 上義弘氏と宇都宮の戸崎和成氏のセミナーをお楽しみください。

2023年【SAMI総会&ミニセミナー】開催されました



アニマルライター 伊藤 悦子

動物医療発明研究会 総会 レポート 2023年10月9日開催

場所:ゾエティス・ジャパン株式会社 本社会議室

時間:4時~6時半

リアル出席者

会場は浅井先生、伊藤先生、上田様、井上様、織田先生、金井先生、岸上先生、小川様(共 立商会)、越村先生、小関先生、白井先生、清水麗子先生 藤森様(シンメディコ) 生、戸崎先生 福山先生 村上先生 安田先生 吉田先生 岡田先生、伊藤 悦子

オンライン出席

岩本先生、永富先生、川鍋先生、橋本先生、新田先生、宮澤先生、ももの木動物病院の塚島 先生、佐藤先生です。

今回の総会は3年ぶりの対面となりましたが、同時にZoomでも配信しました。場所はゾエティ ス・ジャパン株式会社 本社会議室です。

開会あいさつ 清水邦一

会長である清水動物病院院長、清水邦一先生のあいさつで総会が始まりました。 「3年ぶりの対面の会で、お互いの顔が見られるのはすごくうれしい。今日の会を楽しんで、 情報をいっぱいいただいて皆さんとお話ししたい」と笑顔でお話しされました。

会計報告 清水宏子

続いて宏子先生からの会計報告です。会計は例年と変わらない状態であり、会員数は現在 112名となっています。長い間貢献いただいた小暮先生、名古屋の渡辺先生が残念ながらお亡 くなりになったとの報告もありました。宏子先生は「新しい人も入っているので、我々が引き 継いで発展させていきたい」と締めくくりました。

このあと決算報告について、参加者全員が承認しました。

23年度 の予算案については、基本的に今年の決算に基づいて作成しているとのこと。さらに 今後は講師へのお礼は増やす予定です。宏子先生から、「予算の有効な活用方法の提案などあ れば教えてください。原稿料も支払うようにして、アイデアやみんなに伝えたいことがあれば ニュースレターへの投稿をよろしくお願いします」とお話がありました。

さらに「この会は機械を発明しなくてはいけないわけではありません。みんなでアイデアや 工夫を出し合って、これからの獣医療の発展になくてはならない必要な分野にしていきたいと 思っています。臨床の先生、企業や出版社の人、大学の先生みんなでこの生きづらい世の中で、 コロナ対策や仕事の幅を広げることもできたらいい、一人一人仲良しさんを見つけて会員を増 やしていきましょう | と呼びかけました。

このあといよいよお二人の先生による特別セミナーです。

- ・【発明の仕方その2応用編】 岸上義弘先生(岸上獣医科病院)
- ・【ウサギ・チンチラ・モルモット・デグーの麻酔下臼歯切削における私の工夫】 戸﨑和成先生 (アンドレ動物病院)

講演に先立って岸上先生について、宏子先生からご紹介がありまた。

「岸上義弘先生、実は、動物医療発明研究会を1991年に起ち上げたのがお父様の岸上正義先生です。 そのDNAをたっぷり受け継いで1956年1月に誕生しました。麻布大学、カリフォルニア大学デイビス 校卒業後、山根先生のところで研修。大阪で開業しながら、京都大学再生医療研究室で勉強されまし た。後輩が、バイクの事故で寝たきりになり手足がマヒしたことがきっかけで動物の再生医療にも積 極的に取り組んでいます。先日はテレビ朝日でも紹介されました。お忙しい中、大阪からこの回のた めだけに状況してくださいました」

岸上義弘先生(岸上獣医科病院) 【私なりの発明法 後半】

獣医発明研究会セミナー 「私なりの発明法 後半」

岸上義弘



実は、発明研究会を作ったお父様の「岸上正義先生」は発明家としても有名だ ったとのこと。息子である岸上先生はお父様に「大したことない」とずっと言わ れてきたそうです。発明の方法を聞いても「ひらめくんや」だけしかおっしゃら なかったとか。そこで「何とか発明したい」といろいろな本を読んで勉強したそ うです。

○不便を不便と感じる



「発明するには『不便を不便だと感じる』必要性がある」と前回のセミナーの復 習から始まりました。岸上先生は、「おかしい」と思ったときは立ち止まり「何がお かしいか | をじっくり考えるそうです

松下幸之助は「なんとしても考えつきたいという願望と熱意があればなんとかなる どうしても2階に上がりたいという思いが階段を発明した | という言葉を残しまし た。

○階段式の発展

人間は常識を大事にしているため「こんなものだ」と思っていると全然進歩しま せん。このセミナーの前に、戸崎先生の道具を見せてもらったら「常識では考えつか ないもの」だったそうです。常識を捨て去る気持ちが発明には必要だということで

さらに試作の失敗を「失敗 | と思わないことも大切です。エジソンは電球を作る のに2万回失敗しましたが、「2万回の失敗ではなく、2万回こうやったらだめとい うことを発見した」といったそうです。そして、岸上先生の大好きな言葉としてフ

○試作の失敗を失敗と思わない



- 「情報があふれている」「情報を集める」「情報がすべ て」「情報を素早くキャッチ」「世界のどこよりも早い情 報収集」・・・・これって??? よくよく考えてみると、 すべて既存のもの。すでに有るもの。
- 「学ぶ」は「まねぶ」から由来 人のまねをしているだけ
- 教科書を暗記して学校の成績が良いのと、発明する っていうのは全然違うこと。
- 「東大生とコンピュータに、発明はできない。」かな?

23、情報通?

ランスの SF 作家「ジュールヴェルヌ」の「人類が想像できること は、すべて人類実現できる」を紹介しました。実際「月の裏側に行 きたい、どうなっているかと想像したら本当に行けた | ということ もあります。

私たちがつい一生懸命集めている「情報」についても説明があり ました。情報は、すでに誰かが考えたものであり発明ではありませ ん。





新しく発明して高い山に登れたとしても、塀の向こうにさらに高い山を発見することがあります。塀を超えることでさらにいい発明ができますが、「塀」を岸上先生は「過去の常識」としています。そして、ご自分で「SHOCKKDA」と名付

けているそうです。 S:先入観 K:決めつけ

H:偏見 K:既成概念

O:思い込み D:妥協

C:小さな視野 A:あきらめ

「発明していない」と思ったときは、「SHOCKKDA をやっている」と反省し、次の新たな世界に向かいます

自分の目に見えないところ、 自分の耳に聞こえないところに、 思いもよらない事実が隠れている かも知れない。

- ・脳って、、、不思議
- •酔っぱらって意識なくても家に帰れる
- ・山奥での骨折した人の、実際にあったお話
- •交诵事故の車でのお話
- ・脳のスイッチが変わるだけ

ここから今回の本題「脳の話」です。

驚くべき能力の例として興味深いエピソードの紹介がありました。 酔って意識がなくなっても家に帰れるのは脳のある部分が目覚めている から。脳にお酒が入らない部分があるから家に帰れるのです。

ロッキー山脈を一人で登山中、大腿骨を骨折した女性がいます。携帯 電話が繋がらないとわかったとき「死ぬ」と思いました。その瞬間痛みが 消え、這いつくばって山のふもとまで移動ができたのです。救急隊のサ イレンを見つけたとき、痛みを感じたという不思議な話です。

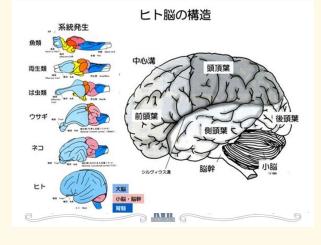
交通事故の衝撃でゆがんだドアを開けた人の話の紹介もありました。 車は炎に包まれ中には人が取り残されているのに、ドアがゆがんでどう しても開きません。ところが、ある男性がドアを手で開けて中の人を助 け出しました。あとで調べたところ、ドアは、とても人の力では開けられ

る状況ではなかったのです。つまり「火事場の馬鹿力」だったとわ かりました。

これらは脳のスイッチが入れ替わって、別人になることで能力を 発揮する例です。「実は

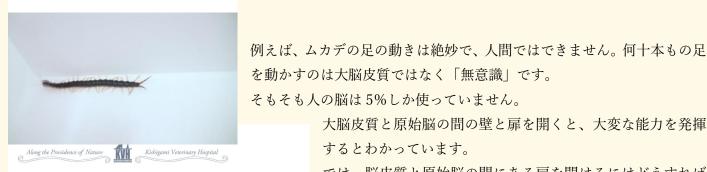
人間誰でもできるものですが、皆さん誰もやろうとしないのです」 と岸上先生。そしてそもそもスイッチって何だろう?と思っていま す。

脳は進化すればするほど大脳が脳の中身を包み込んでしまいますが、本当の能力を発揮するのは脳の中心部。これを「原始脳」と呼んでいます。つまり大事なものは奥にしまってあるのです。



大脳皮質 vs 海馬 扁桃体 大脳辺縁系 松果体 帯状回 現床 現床下部 大事な物は 奥にしまってある Along the Providence of Nature Kishigami Veterinary Hospital

原始脳は海馬・扁桃体・大脳辺縁系・松果体。あれこれ考える大脳 皮質に対して、原始脳は「すごい」とわかっているのです。



を動かすのは大脳皮質ではなく「無意識」です。

そもそも人の脳は5%しか使っていません。

大脳皮質と原始脳の間の壁と扉を開くと、大変な能力を発揮 するとわかっています。

では、脳皮質と原始脳の間にある扉を開けるにはどうすれば いいのでしょうか。

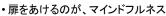
あれこれ思考する

大脳皮質

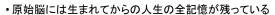
VS

本能の 原始脳

この扉を開けたい



- 雑念を抹消できる
- 潜在していた能力を掘り起こす



- •大脳皮質の記憶はすぐに忘れていく
- 最も良い方法は、扉を開け、大脳皮質から原始脳に貯蓄し、
- 良いタイミングで、原始脳から能力を引き出す
- 扉がスースー開いている状態。

その方法として「マインドフルネス」があります。俗に 「ゾーンに入る現象」で、大脳皮質を「真っ白」にする と原始脳が能力を発揮します。

原始脳が能力を発揮した一例として、頭を強く打ったア メリカの男性のエピソードが映像とともに紹介されま した。男性は無事でしたが、のちに異変が起きます。あ る日友人の家で一度も触ったことのないピアノを弾き 始めたのです。これは「サヴァン症候群」といって大脳 皮質を傷めた結果、原始脳が出てきた例です。男性は今 も各地でピアノコンサートを行っています。

原始脳 銀行口座の残高

- •まずは習う 情報を集める 大脳皮質で理解する
- なぜ、いつ、どうするのか、
- •あ、そうか! と 腑に落ちる 原始脳へ送る
- ・脳裏に刻む→→ 原始脳銀行に貯蓄
- •大脳皮質を真っ白にして集中状態に入れば、
- 原始脳銀行に貯めた残高の能力が発揮される
- ・貯蓄が無いのなら、発揮できない
- •大脳皮質優位だと、原始脳の扉は開かない。

のは怖いし、いきなりは無理です。 まずは習うところから始め、いろいろな情報を集めて大脳皮

質で理解します。そして腑に落ちたら、原始脳に送っていきま す。脳裏に刻めば」「原始脳銀行」に貯蓄できるので、大脳皮 質を真っ白にして集中状態に入ると能力が発揮されるのです

ただし、大脳皮質を壊して原始脳を出すためにケガをする

大脳皮質優位だと頭でっかちで世間体や常識にと らわれるため、原始脳の扉は開きません。

ちなみに・・・・大脳皮質が優位な時は、

- 頭でっかち
- 考えて、考えて、考えて・・・・・決められない
- 世間体を気にする
- ・常識を大切にする
- ・自己評価が低い。他人からの評価を気にする
- 過去のイヤなことを忘れられない
- 過去に振り回される
- 未来の分からないことに悩む
- 未来の心配のために、今を生きれない
- ・自分に正直ではない
- ・自分の本音が何なのか、分からない
- ・ 先入観、偏見、思い込みが多い
- 自分を飾る。見栄をはる
- •人前で緊張、上がる、恥ずかしい。

一方、原始脳が優位なときは自分に正直に、そして本 音で生きられるため、今を大切にできるのです。自分 を飾らないので人前で緊張することもありません。

原始脳が優位な時は、

- ・さっと考えて、一発回答
- ・常識は変えられると思う
- 本音で生きる
- 生きるのが楽
- ・自分の気持ちに正直 自分にウソをつかない
- 世間体を気にしない
- 人は人、自分は自分
- 過去よりも未来よりも、今を大切にする
- ・過去は起こってしまったこと。変えられないと思う
- ・未来はまだ起こっていないので、心配しない
- ・先入観、偏見、思い込みは持たない
- ・自分を飾らない 見栄をはらない
- 人前で緊張しない。上がらない。。。。

集中しているときの状態を 逆行再現して、脳をだます by Gamy

- 普通、集中しようとしても、大きなプレッシャーがあるとか、 雑念がどんどん出てくるとか、、、、とてもできない
- それならば、集中している時の徴候を再現、マネする
- ・すると、脳がだまされて集中状態に近づいていく
- ・呼吸・表情・姿勢・歩き方・脳波などを勉強しましょう。

岸上先生は、今原始脳が優位な状態です。そのため先生は人 前でも緊張しないのですが、かつては緊張していたそうです。 ご友人の結婚式の司会では手が震え、学会ではレーザーポイ ンターが揺れていたと意外な過去をお話しいただきました。

原始脳を優位にするには、「自分の脳をだますことが大事」で あり、自分の脳は意外とだませます。

脳をだます方法として、岸上先生はアロマセラピーを行って いるそうです。鼻腔は原始脳へ通じる近道なので落ち着く香 りを嗅ぐのは効果的とのこと。その他ネパールのシンキング ボールの音を聞くのも落ち着くそうです。

音波は脳に影響を与えます。 ソルフェジオ周波数 528hz の音 を、ジョンレノンやマイケルジャ クソンが意図的に入れていまし



た。 DNA 修復、うつ病やパニック障害にも良いといわれています。440hhz はデ ビルトーンといってダメだそうです。

セミの声

ヒグラシが好きです。

お母さんの心音や羊水の音、寄せては返す不規則な波の音も良いそうです。 ただし、メトロノームでは人は癒されないそうです。先生はひぐらしの声 を録音して聞いているそうですが、大変落ち着くとおっしゃっていました。 おすすめだそうです。

さらに

呼吸・表情・姿勢・歩き方・脳波 で、脳をだます





Kishigami Veterinary Hospital

呼吸が大切 なぜ?

- 「不安」→→ 呼吸が浅く速くなる
- •「安心」→→ 呼吸が大きくて深くてゆっくりになる
- そこで・・・・意外なことがわかってきた!
- ・呼吸を浅く速くすると→→→不安になる
- ・呼吸を大きく深くゆっくりすると→→→安心する
- •ということがわかってきた!
- •脳は意外と だまされやすい。
- だまされたがっている。

表情

- ・落ち着いた無表情 ロ角を上げる
- ・動じない表情
- 眼は遠くを見る

姿勢

•背筋を伸ばした姿勢

- •胸を張る
- •顎を引く
- うつむかない

力み

- 力を緩めようとしても無理
- その時には、思いっきり力を入れて、
- スッと力を抜く

・思いっきりジャンプして

堂々と歩く

- うつむかない
- •ゆっくりと歩く

歩き方

一定のリズム

着地する

食べる または 飲む

- •ルーティーンで決まったものを食べる
- ・胃腸を使う
- •つまり副交感神経 優位にする
- •交感神経が鎮まる
- •末梢から中枢をだます
- •イチローが 毎回 カレーを食べていた



マインドフルネスの3つの特徴

過去でも未来でもない、今 ここに集中!!!!

全てを総動員して、脳をだます

- 思考
- 視覚
- 聴覚
- 嗅覚
- •触覚
- •味覚
- 呼吸
- 表情
- 2X IFI
- 姿勢
- ・歩き方
- 脳波さらに+
- ・マインドフルネス

思考や視覚、聴覚など脳を だます方法を自分で選び、さ らにマインドフルネスを加え ます。マインドフルネスは瞑 想であり。宗教ではなく誰で もできるのがメリット。脳科 学的にも実証されています。

マインドフルネスで、脳の構造だけでなく活動性も松果体など原始脳構造も変わっていくそうです。

岸上先生が実施しているのは「今ここに集中」、つまり一点に 意識を集中するのを意識しています。

脳波は大事ということで、「わちゃわちゃしている脳波」 「集中している脳波」を実際に調べました。

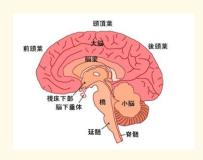


マインドフルネス状態の脳波を見て「あなたお坊さんでしたか?」と言われたくらいだそうです(実は岸上先生はお坊さんの家系だそうです)。

他に、「光療法」もあります。昔は高野山で苦行を重ねて大脳皮質を麻痺させていましたが、今はマインドフルネスなどでゾーンに入れます。

ゾーンに入るって?

- •原始脳が全開の状態
- •極限の集中状態
- ・火事場の馬鹿力 100%以上
- ・細かいこと、俗世間のことは気にならない
- ・緊張しない 無理しない 自然な流れ
- ・蓄積した能力を、そのまま発揮できる
- ・スムーズで的確な動き ケガをしない 百足
- ・今 一番すべきことが分かる
- ・客観的に、全体を俯瞰できる。





自分を落ち着かせることで、貯金してきたものが結びついていい発明ができるようになるはずです。 どうしてもゾーンに入れない場合は、「ヘミシンク」という技法があります。左と右で周波数の違う音を聞くこと で、脳波がゆっくりになるとわかっています。

脳波誘導のお話

(どうしてもゾーンに入れない人のために)

- ・極限の集中状態では、覚醒時と睡眠時の中間の ような脳波
- •ならば、脳波を強制的にゾーン脳波にする
- すると勝手にゾーンに入っていく
- ・右耳と左耳で、微妙に周波数の異なる音を同時に 聞くと、脳波がゆっくりになっていくのを発見(アメリカの研究者)
- ・それを「ヘミシンク」という
- 替否而論
- ・副作用として、幻覚、幻聴、鮮明な強烈な夢を見る
- •これは原始脳が台頭している証拠と言われる



まとめ

- •普段は奥に隠れている原始脳のスイッチを入れる
- •潜在意識を呼び起こす
- ・能力がとてつもなく高い
- 誰でもできる
- •大脳皮質で集めた情報を凌駕する発明ができる
- •その脳にご自分の本心がある
- •人生の分岐点で、このスイッチを入れて考える
- ・後悔しない生き方

実際に先生は試しましたが、あまり恐ろしい夢を見るので 1週間でやめたそうです。

最後に、「原始脳スイッチを入れるのは誰でもできるのでやってみてください」とし、「原始脳は本心が入っています。スイッチを入れて考えれば後悔しない生き方ができます」と今回のセミナーをまとめました。

データなど質問はメール (PC) で受け付けるそうです。gamy@kvh161.jp

岸上がやっているセミナー リスト

- ・ 発明の仕方
- 再生医療(脳神経系、猫慢性腎不全、自己免 疫性疾患など)
- 老犬・老猫のケア
- 人と動物の「がん」治療法(副作用無し)
- 人のアンチエイジング
- ・ 犬の骨折
- ・ 犬の膝蓋骨脱臼
- コロナ騒動のからくり

Along the Providence of Nature



大変興味深い内容の岸上先生のセミナー。質問や経験談も 寄せられました。

織田先生からは、「ネパールのシンキングボールで作った曲」についてコメントがありました。曲のあるところで猫が同調し始めてニャーニャー鳴き始めるそうです。さらに織田先生ご自身も同じ場所で空中浮揚している気がするとか。これは CD があるそうです。

そのほか、新田先生からは「覚せい剤」との関係についての質問、宏子先生からは、「篠笛を吹いているので呼吸法として良いのでは。アロマで頭痛が治ったが今日の話を聞いてわかった」などコメントをいただきました。

【ウサギ・チンチラ・モルモット・デグーの麻酔下臼歯切削における私の工夫】 戸﨑和成先生(アンドレ動物病院) につきましては、次号にお伝えいたします。お楽しみに!

本の紹介 「まんが医学の歴史」 茨木保著 医学書院

高草山どうぶつ病院 橋本昌大

小生は漫画が大好き。勉強も漫画本ですませたい。「まんが医学の歴史」は試験勉強のためではないので、楽しんで読んでください。16世紀に理髪師と外科医を兼ねていたパレは、焼きごてを使って止血する方法から血管を結紮する方法を再発見しました。「侵襲を最低限におさえる」とう鉄則を確立し、愛護的な精神を大切にしたそうです。偉い人です。そして「我、包帯し、神、これを癒したもう」の言葉を残しました。当時



の治療は痛そうです。怖いです。また、19世紀には自宅出産よりもウィーン総合病院での分娩の方が産褥熱による死亡率が高かったというのです。病人や死体にふれた医師が消毒せずに妊婦にふれていたことが原因だったのです。もちろん、その後、手を消毒することが確立されて、死亡率は下がりましたよ。そのような医学の歴史が書かれた一冊です。人類の進歩の裏と表を見る思いです。もちろん感動的な良い話が多いので安心してください。著者の「あとがき」も良い文章です。お時間許せば是非ご一読を。



はじめまして。宮下ひろこと申します。

現在千葉県内の動物病院に動物病院専任のカウンセラーとして勤務し、ご依頼がある動物病院スタッフのコーチングやカウンセリング、メンタルヘルス等の相談業務を行っています。

間接的なサポートですが、心のケアを通じて動物病院で働く人が心身ともに健康に働けること、そして日々楽しく活躍してくださることが、今の私のやりがいとなっています。

マイブームは、昨年迎えた保護猫の写真を SNS に投稿すること。久々に猫のいる 生活を楽しんでいます。いろんな猫の表情が毎日の発見です。

いま最も関心があることは、人の幸福度の違いについてです。

相談業務を行っていると、同じ職場環境にいても人によって幸せの捉え方が異なることに驚かされます。同じ出来事でも、人の捉え方で幸せの感じ方が 180 度違います。

なぜ人は幸せに対する感度が異なるのか、どのようなことが幸せな働き方・生き方に影響するのか、とても興味があるテーマです。

こちらの研究会で扱う「発明」という発見やアイディアを研究すること、そして発明を楽しむことは、人の幸せ に影響しているのではないかと思います。

小動物臨床の現場からは長く離れているため、なかなか発表まではいたらないかもしれませんが、皆様の発見や アイディアに触れながら学ばせいただけたら幸いです。

どうぞ宜しくお願いします。

動物医療発明研究会のホームページができています。 登録もできます。

会員の病院・施設名、〒、住所、TEL、FAX、ホームページURLを掲載します。

ご希望の場合は、件名に「SAMI-HP掲載希望」と明記して、下記のメールにお願いします。

<u>hp@ispecial.co.jp</u> (㈱アイ・スペシャル運営受託

SAMI NEWS 66号

発行日 2024年1月

発行所 動物医療発明研究会事務局

発行人 会長 清水 邦一

事務局 230-0061横浜市鶴見区佃野町3-3 清水動物病院内 清水宏子

TEL(045)583-3738 FAX(045)583-3594